

クリエイティブドラマのワークショップへようこそ

所沢こどもルネサンス「クリエイティブドラマワークショップ」は



子ども達の
「今」
を大切に、



瑞々しい感性を育みあうための、
出会いの広場です。

■クリエイティブドラマワークショップって？

「クリエイティブドラマワークショップ」は演劇的な創造表現活動。

表現は特別なことではなく、誰もが当たり前に行っていること。一見ゲームのような活動でも、そこにクリエイティブなスイッチが入ることによって、表現の世界はぐっと深まり、広がります。

■活動の目的

1. 自信を育み、“想像力”と“伝える力”を育てる
2. 他者との関係づくりの力を育てる
3. 生き生きとした感情表現を実感して、情緒の安定を促進する
4. 自分の体をコントロールする力を育てる
5. 明日を生きる前向きなイメージを持たせる

■参加したみんなの声

●ここでやった遊びを友だちに教えたら「おもしろいね」と言ってくれたよ。●やって思ったことは、たんじゅんですけどすごく楽しかったです。●今日は「もしも」のことが楽しかった。家でひとつ考えた。「もしも、まほうがつかえたら」です。●友だちと公園で、ここでやるおにごっこをやりたい。●少しの時間でこんなに真剣にはなしたり、演じたりできて、脳を全開する活動だった。●知らない人と友達になったり、先輩だけどふつうに話せたりしてすごく楽しかった。●今まで、のどまででかかってもだせなかった POWER が今日だせてとっても楽しかったです。

■ドラマ教育って？

クリエイティブドラマの活動は、「ドラマ教育」という言葉で紹介されることもあります。ドラマという英語の語源は行為、遊びを意味するギリシャ語。ドラマ活動は文字通り想像力を働かせ心と体を生き生きと動かして「やってみること」「なってみること」そして「遊ぶこと」です。



子どもたちの想像力や表現力を育て社会性や創造性を養う育成プログラムとして、欧米では学校教育のなかにも組み込まれてきましたし、日本でも昨今、青少年の健全育成や学校での「総合的な学習」と関連して関心が広がっています。

■講師について

○下川 涼子

表現教育講師

福岡生まれ。九州から北海道まで、様々な地域で幼児～大人までを対象とした表現ワークショップを幅広く行う。学校教育の現場でも表現教育の実践を行っている。

○直井 玲子

演劇ワークショップ・ファシリテーター

東京学芸大学大学院表現教育コースで、国内外の演劇教育を研究中。子どもミュージカルの指導や、幼稚園～大学で演劇ワークショップを行う。

第3回所沢こどもルネサンスより、劇作家、演出家の西田豊子氏を講師に迎えワークショップを行なってきました。彼女は日本で数少ないクリエイティブドラマの専門家で、子どもの持つ表現力を引き出すことにおいて、卓越したセンスをおもちです。現在、児童青少年演劇の舞台作品づくりとともに、多くの自治体や学校などでのドラマの指導、玉川大学芸術学部講師として後進の教育にあたっておられます。現在は上記講師が引き継いで活動しています。

■このイベントの運営は？

所沢こどもルネサンスの9企画の一つで、所沢市の補助金と参加費で運営しています。

クリエイティブドラマワークショップスタッフが自主的に計画し、講師との打ち合わせ、当日の運営、まとめなどをします。

一緒にやってみたいという方、スタッフになりませんか？ぜひお声をおかけください。

■さいごに

こどもルネサンスでこの企画が始まったのは平成4年、いままでも多くの子どもたちが参加し、自分を表現する楽しさを体験してきました。1回だけの体験で終わるのでなく、続けることで違う学校や異年令の仲間ができ、中にはスタッフとして活動している中学生、高校生、大学生もいます。

夏に引き続き、冬・春にもワークショップを行います。冬は12月25日・26日、春は3月30日・31日(小学生対象)を予定しています。市報「翔びたつひろば」をみて応募してください。